

"Road to 8hours" **300**km SUZUKA

"Road to 8hours" 鈴鹿300km耐久ロードレース

2009
6/13 予選 SAT. • **14** 決勝 SUN.

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース
1周 5.821km

- 大会名称 : "Road to 8hours" 鈴鹿300km耐久ロードレース
- 同日開催 : 鈴鹿 ST600 100kmロードレース / Buell Battle Field
- 主催 : 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 公認 : 国際モーターサイクリズム連盟(FIM) / 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)

真夏のバトルへの前哨戦!!

"Road to 8hours" 鈴鹿300km耐久ロードレース



全日本ロードレース選手権の最高峰 JSB1000クラスに代表されるスプリントレースは、レギュレーションで総走行距離は130km以下、もしくは走行時間2時間未満と定義されている。そしてこれを上回るものが一般に耐久レースと呼ばれているのだが、“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレースは、その大会名の通り総走行距離300kmであり、定義上スプリントレース最長距離の2倍以上を走破する耐久レースだ。

また、スタートにはル・マン式が採用され、ライダーは2名までの登録が可能、すなわちレース途中にライダー交替や給油をはじめタイヤ交換などが行われるが、スプリントレースにはない、耐久レースならではのスリ

リングなシーンが見られることになる。そしてこれらはもちろん、“Road to 8hours” の名前が示す通り、来る7月26日(日)午前11時30分に決勝レースのスタートが切られる“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8時間耐久レースを見据えてのものに他ならない。

戦略は千差万別

この“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレースは、実に難しいレースである。なぜなら、チームによってさまざまな戦略が採用されるからだ。

もちろん、ほとんどのチームが優勝を目指してくることは言うまでもない。なぜなら、優勝を目指した戦いのなかで得られたデータこそが、来る“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐で勝つための貴重なデータとなるからだ。一方で、より精密な燃費を割り出すために、ガス欠ストップ＝リタイアを覚悟して大会に臨むチームもある。それだけに最後の最後に大きなドラマが起こり得るレースでもあるのだ。

ピットワークにおいても、貴重な実戦テストの場となることから、見逃せないシーンのひとつ。さらに注目すべきは、誰が、どのチームから、誰とペアを組んで出場してくるかにある。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

耐久レースに求められるもの

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の前哨戦は、実はこの“Road to 8hours”鈴鹿300kmだけではない。多くのチームは、全日本ロードレース選手権シリーズの前半戦を用いて、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に向けてマシンを仕上げて行く傾向にある。ということは、必然的にキーレースとなったのが、KEIHIN SUZUKA 2&4 RACEだ。そしてここでは、F.C.C. TSR Honda秋吉耕佑が決勝レースはもちろん、ノックアウト方式予選等の各セッションでトップタイムをマークし、コースレコードも塗り替えた。

今年の秋吉は、鈴鹿でのレースのみの参戦とアナウンスされているが、もちろん“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に向けてマシンを仕上げて行くのがその使命のひとつであり、まずはライバルを一步リードした形。

しかし、耐久レースは、速いライダー、速いマシンがあれば勝てるというものではない。耐久レースのもう一つの定義として、スプリントレースが個人競技であるのに対して、チーム単位(2人もしくは3人のライダー)で行われるとある。そう、速いマシンはもちろんだが、二人のライダーが乗り継ぐ耐久レースでは、ロングランでいかに乗りやすく速いマシンに仕上げられるかが問われるのだ。

早くも臨戦態勢の主力チーム



F.C.C. TSR Hondaから参戦する伊藤真一(左)と秋吉耕佑(右)



すでに公表されているところでは、F.C.C. TSR Hondaから伊藤真一と秋吉耕佑が出場。『絶対王者』と『日本最速』のドリームペアが誕生する。そしてヨシムラズキwith JOMOでは、酒井大作と徳留和樹を送り出す。ヨシムラブランドの次代を託された二人の戦いは注目だ。カワサキは全日本JSB1000で活躍する柳川明が今年は高橋英倫とのペアで300kmに臨み、同じくカワサキ



ヨシムラズキwith JOMO 酒井大作の走り(上)と徳留和樹(下)



Honda DREAM RT 桜井ホンダ亀谷長純の走り

のトリック☆スターレーシングでは、井筒仁康と武石伸也の、元カワサキワークスライダーによる夢のコラボが実現するなど、話題豊富だ。

一方で、全日本で活躍するMuSASHi RT/ハルクプロ山口辰也と小西良輝のコンビや、Honda DREAM RT 桜井ホンダの亀谷長純らも“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に向けて動向が注目される。



井筒仁康



山口辰也



カワサキの柳川明(左)と高橋英倫(右)



チケット好評販売中！

[価格はすべて税込]

HOSPITALITY LOUNGE

新ピットビルディング2階に新設されたワンランク上の観戦空間 ホスピタリティラウンジ



※イラストはイメージです

新ピットビルディング2階に設けられたホスピタリティラウンジはハイグレードな観戦ルームに加えて、ピットレーンに張り出した屋外観戦席を設置。鈴鹿サーキットはおもてなしの心とともに、快適で迫りに満ちた観戦をご提供いたします。またより高い場所からコースを見渡せるピットビル3階のホスピタリティテラスへもご入場いただけます。

ホスピタリティラウンジ ＜大人向け＞ (2日間有効・観戦券込み)	ファミリーラウンジ ＜大人(中学生以上)＞ (2日間有効・観戦券込み)	ファミリーラウンジJr ＜子ども(3歳～小学生)＞ (2日間有効・観戦券込み)
21,000円	21,000円	6,000円

【ホスピタリティラウンジ特典】

- スペシャルランチボックス(決勝日 6/14(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)※Jrにはつきません
- 大会公式プログラム※Jrにはつきません
- ピットウォーク(2日間対象)
- ホスピタリティテラス(ピットビル3階)入場可
- パドック入場可(2日間対象)
- 激感エリア入場可
- 専用プラスチックパス※Jrにはつきません

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

受付期間:6月7日(日)24:00まで

※駐車券は1名様～4名様までのお申込1件につき1台分となります。(ファミリーラウンジJrには付きません)

※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込後のキャンセルは一切できません。

※屋外観戦席は自由席となります。

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦いただける共有ラウンジです。

HOSPITALITY TERRACE

新ピットビルディング3階からの眺望と生の迫力を体感できる空間 ホスピタリティテラス

新ピットビルディング3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。またピットレーンに張り出した屋外観戦席もご用意しております。



※イラストはイメージです

ホスピタリティテラスは別途観戦券が必要です

ホスピタリティテラス (2日間有効・別途観戦券必要) ＜大人(中学生以上)＞	ホスピタリティテラスJr (2日間有効・別途観戦券必要) ＜子ども(3歳～小学生)＞
5,000円	2,000円

※ホスピタリティテラスのご購入には観戦券が別途必要です。

※3歳以上有料となります。(特典内容は大人同様となります)

※ホスピタリティテラスでのお食事対応はいたしていません。

※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

【ホスピタリティテラス特典】

- ピットウォーク(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- 激感エリア入場可
- 専用プラスチックパス
※Jrには付きません

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>



SUITE

パドック、ホスピタリティラウンジにも入れる最高級の観戦環境を提供

VIPスイート・プレミアム

グランドスタンド上部に位置し、東コースの大部分を見渡すことができるVIPスイート。VIPスイート・プレミアムはVIPスイート、VIPテラス、パドックをはじめ、新ピットビルディングのホスピタリティテラス(3階)、ホスピタリティラウンジ(2階)にもご入場いただけるプレミアムチケットです。

VIPスイート・プレミアム (2日間有効・観戦券込み・3歳以上共通料金)
23,000円

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)からお申込みください。

受付期間: 6月7日(日)24:00まで

※3歳以上有料(飲料、食事など特典内容は大人同様となります。)

※駐車券は1名様~4名様までのお申込につき、1台分となります。

※ホスピタリティラウンジでのお食事、飲料対応はいたしておりません。

※VIPスイート・プレミアムは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※VIPテラスの販売はいたしておりません。VIPテラスはVIPスイートのお客様、車いす観戦指定席のお客様のご利用エリアとなりました。

【VIPスイート・プレミアム特典】

- スペシャルランチボックス(決勝日 6/14(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券(専用駐車エリア)
- 大会公式プログラム
- ピットウォーク(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象)
- 激感エリア入場可
- ホスピタリティラウンジ入場可(2日間対象)
- ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
- グリッドウォーク
(6/14(日)鈴鹿300km耐久ロード決勝レース
スタート進行時のみ(約15分程度)となります)
- 記念品



ピットウォーク

マシンやキャンペーンギャルを撮影したい! もっと間近でみたい! お屋のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

今年よりピットウォーク券はMOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)にて前売販売いたします

	大人(中学生以上)	子ども
6月13日(土)予選日	1,200円	無料
6月14日(日)決勝日	1,200円	

※ピットウォーク券のご購入には観戦券が別途必要です。

※MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト※PC・モバイルサイト)からお申込みください。

受付期間: 6月7日(日)24:00まで

※前売ピットウォーク券は完売する場合があります。お早めにご購入ください。

前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォーク券の販売はございません。

※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。



写真はイメージです

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

スーパーバイクシリーズセット券

2戦以上観るならシリーズセット券が断然お得！！ しかも今シーズンのシリーズセット券はパドックパスやV2指定席が割引価格で購入できるお得なクーポン付き！ 上手に使ってもっとお得にレースを観戦しよう！

スーパーバイクシリーズセット券 シリーズ3セット
10,500円

■販売期間：6月14日(日)まで

■対象レース

- “Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレース [6月13日(土)・14日(日)]
- “コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース 第32回大会 [7月23日(木)～26日(日)]
- 第41回MFJグランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿 [10月31日(土)・11月1日(日)]

■特典 お得なクーポン付！

1. 300km・SBのパドックパス500円割引のお得なクーポン付き

2. 8耐のV2指定席500円割引のお得なクーポン付き

※クーポンは、レース当日遊園地メインゲート横特設受付または各入場ゲートにてお渡しいたします。

※クーポンはレース当日ご利用いただけます。前売券には適用となりません。(当日料金からの割引となります)

※割引対象チケットが前売で完売する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■前売観戦券(2日通し券)

大人	ペア(大人2名)	中・高校生
ゆうえんちモトピアパスポート付		入場のみ
3,500円	6,500円	1,600円

■当日観戦券

	大人	中・高校生
6月13日(土)予選日	ゆうえんち入園料(1,600円)	
6月14日(日)決勝日	4,000円	1,600円

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中高生／1,600円・小学生／800円・3歳～未就学児／600円

※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。

※本レースは、ゆうえんちモトピアパスポートでご観戦いただけます

※レース観戦券をお持ちのお客様がモトピアパスポートをご希望の場合は、観戦券の提示で割引料金にてご購入いただけます。

■パドックパス(2日通し券) ※別途観戦券が必要です

大人(中学生以上)	小学生以下
4,000円	無料

※小学生以下のお子様は保護者同伴が必要です。

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックパスをご購入いただいたお客様は激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。

※パドックパスではピットビル2階、3階にはご入場いただけません。

※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

株式会社 モビリティランド **鈴鹿サーキット**

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

[価格はすべて税込]

■グリッドウォークパス ※別途パドックへ入場できるパスが必要です。

大人(中学生以上)	小学生以下
3,000円	無料(保護者同伴でご入場ください)

※開催当日現地発売となります。前売り販売はございません。

※販売枚数は200枚限定6/14(日)GPLレセプションにてゲートオープンより先着順にて販売いたします。

※グリッドへのご入場は6月14日(日)鈴鹿300km耐久クラス決勝レーススタート進行時のみ(約15分程度)となります。

※小学生以下のお子様は保護者の同伴が必要です。(保護者は有料パスが必要です)

※グリッド上への脚立などの持込はご遠慮下さい。

※グリッドウォークパスの購入はパドックに入場できるパス(ホスピタリティラウンジ・ホスピタリティテラス・パドックパス・ゲストパスなど)をお持ちの方のみとなります。

※グリッド上ではマナーを守り係員の指示・誘導に従ってお楽しみください。

※レース中断等で、再スタートとなった場合のスタート進行はご入場いただけません。

ご案内: ●大人のお客様は、ゆうえんちモトピアパスポートで本レースをご観戦いただけます。
●中・高生のお客様は、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

鈴鹿、もてぎのチケット・グッズが同時に買えるオンラインショップ
詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス!

MOBILITY STATION

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	6月13日(土)まで(販売時間 10:00~17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100(通販専用)	6月7日(日)まで(販売時間 10:00~16:00)
■MOBILITY STATION (オンラインショッピングサイト) PC http://mls.mobilityland.co.jp/ モバイル http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/	6月7日(日)24:00まで(24時間受付)
6月13日(土)まで販売(一部販売期間が異なる店舗がございます。) ●電子チケットぴあ ●CNプレイガイド ●ローソンチケット ●イープラス ●セブン-イレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●am/pm ※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。	

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(059)378-1111 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>